

# 国際フォーラム「行政苦情救済&オンブズマン」及び「アジア地域国際研修」の開催

- 目的：我が国の行政相談・行政評価制度の発信と諸外国の行政苦情救済機関との協力・意見交換

国際フォーラム「行政苦情救済&オンブズマン」～行政の透明性と双方向性の向上を目指して  
2016年3月8日（火） 10:00-12:30 於：東京

開会あいさつ 土屋正忠総務副大臣

<パネルディスカッション> 司会：堀江 正弘（政策研究大学院大学特別教授）

<パネリスト> J. ウォルターズ（ナミビア・オンブズマン、国際オンブズマン協会 会長）

G. クロイター（オーストリア・オンブズマン、国際オンブズマン協会事務局長）

S. ファルーキ（パキスタン連邦オンブズマン、アジア・オンブズマン協会会長）

K. S. ソウ（香港副オンブズマン）

新井 豊（総務省行政評価局長）

※ 5名のパネリストが、行政の透明性と双方向性の向上のために、オンブズマンが果たすことができる役割と重要性について各国と地域の実例を紹介しながら発表。休憩後、寄せられた多くの質問に答えると共に、国際行政学会会長であるブッカー教授（ベルギー ルーベン・キリスト教大学）からもコメント。

アジア地域国際研修（IOI・AOAとの共催）2016年3月8日（火）14:00-18:10、9日（水）9:00-15:25、10日（木）9:30-11:30

講師：アンドレ・マラン（カナダ・オンタリオ州前オンブズマン）「“Watchdogs bark” オンブズマンが吠える」

外山 公美（立教大学教授） 「世界のオンブズマンの任務と調査権」

塚本 壽雄（早稲田大学教授） 「日本の行政監視制度」

渡会 修（前行政評価局長） 「行政評価局調査」

讃岐 建（総務省大臣官房審議官） 「行政評価局による行政制度の改善」

- ① 系統的調査手法
- ② 証人とヒアリング
- ③ 広報・ソーシャルメディア・ITの活用
- ④ 事実や証拠の評価と報告書の作成

# 国際フォーラム「行政苦情救済&オンブズマン」及び「アジア地域国際研修」

## 主な参加者

【海外】 23の国・地域の27機関から84名 閣僚級・最高裁長官級のオンブズマンが多数来日

オーストラリア、アゼルバイジャン、カナダ、中国、香港、インドネシア、イラン、ヨルダン、韓国、韓国江原道、キルギスタン、マカオ、マレーシア、ナミビア、パキスタン（複数機関参加）、パキスタン・シンド州、スリランカ（複数機関参加）、台湾、ロシア（タタールスタン）、タイ、東ティモール、ウズベキスタン、ベトナム

【国内】 行政相談委員（81名）、苦情推進会議委員（3名）、日本オンブズマン学会等研究者（15名）  
各府省・特殊法人・自治体オンブズマン・自治体の相談担当者（9名）  
総務省本省・地方局所職員(99名)

国内外から 延べ280名が参加

日付	時間	プログラム	日付	時間	プログラム
3月8日 (火)	10:00-12:30	国際フォーラム「行政苦情救済&オンブズマン」	3月9日 (水)	9:00-10:10	研修④ 行政評価局調査
	14:00-14:10	アジア地域国際研修 開会式		10:25-11:35	研修⑤ WB－証人とヒアリング
	14:10-15:20	研修① 世界のオンブズマンの任務と調査権		13:00-14:10	研修⑥ 行政評価局による行政制度の改善
	15:35-16:45	研修② Watchdogs Bark(WB)－系統的な調査の手法		14:25-15:25	研修⑦WB－広報・ソーシャルメディア・ITの活用
	17:00-18:10	研修③ 日本の行政監視制度－アジアのオンブズマンと行政評価局		15:45-20:00	都内視察 ※海外参加者のみ
	18:30-20:30	レセプション	3月10日 (木)	9:30-11:00	研修⑧WB－事実や証拠の評価と報告書の作成
				11:00-11:30	研修閉会式